

岩手大学大学院獣医学研究科主催
動物介在学研究シンポジウム

馬と人の関係

— 農耕馬の将来を考える —



2024年2月27日(火) 13時～
岩手大学農学部 総合研究棟2階
ぽらんホール 参加費無料

事前参加登録

一般の方
学生さんの参加
歓迎です！



2月25日まで事前登録可
それ以降は当日直接会場にお越しください



問合せ先：岩手大学大学院獣医学研究科
宮崎珠子 okatama@iwate-u.ac.jp

馬と人の関係—農耕馬の将来を考える—

大きな体に優しい目、人に従順で意思疎通ができる馬。人の歴史は馬と共に作られてきたと言っても過言ではありません。4000年以上前から農耕や運搬、そして交通の手段として、馬は人々の生活に密接に関わってきました。しかし約150年前に自動車が発明されて以来、馬の役割を機械が担うようになり、人の生活における馬の需要は次第に減っていきました。岩手は、古くから馬産地として知られ、南部曲り家にも見られるように馬と人が一緒に生活してきた歴史があります。その中で様々な馬事文化を育み、祭事は現在も継承されています。本シンポジウムでは、馬の魅力を再確認し、これからの私たちの生活で、馬とどのような関係を築けるか、馬車を含め現在行われている馬の活用法について学び、馬と共存し続ける方法を考察したいと思います。

プログラム

- 13:00~13:05 開会式
- 13:05~13:55 帯広畜産大学 南保泰雄
「人と馬の絆による教育・研究・社会貢献
-帯広畜産大学における馬の利活用について-
- 14:00~14:50 馬搬振興会 岩間敬
「これからの時代はAIともう一つのAI
(アニマル インテリジェンス) だ！」
- 15:10~15:30 岩手大学動物病院研修医 照井周二
馬車みち会議岩手大学プロジェクト活動紹介
「馬っこふれあい会が馬と人に及ぼす影響」
- 15:35~16:25 帯広馬車BAR 永田剛
「地域の馬文化を活かす馬車事業の作り方」
- 16:30~16:55 総合ディスカッション 岩手大学 宮崎珠子
「盛岡での馬車運行の可能性を探る」
- 16:55~17:00 閉会式